

# 14 地域農業のリーダーとして活躍する農業士と農業の未来を考える

- 地域農業のリーダーとして活躍する農業士との意見交換を通じ、今後の経営改善と地域農業の発展を目指す。

## ○ きっかけ

越前町農林水産課主催の「丹生農業士会と越前町職員との意見交換会」において、農業経営の課題について意見交換を行った。令和5年1月に改めて、水田活用促進対策、米に係る諸問題、中山間地対策等について、さらに踏み込んだ議論を行うべく懇談会を開催した。

## ○ 取組の概要

越前町内において、丹生地区の農業者、国、県及び関係団体が一堂に会した懇談会を開催し、中山間地における農業の現状や課題解決に向けた意見交換を行った。

## ○ 懇談会での意見・要望など

- ・ 多収品種での飼料用米生産を検討するにあたり、どのような品種を作付ければいいのか不安がある。
- ・ 借地の場合、畦の草刈等の農地管理は耕作者が行っており、その労力や経費は大きな負担となっている。
- ・ 担い手に農地を預けた地権者は、農地管理に関心が薄く、多面的機能支払いの活動に支障が出ているケースもある。
- ・ 獣害がひどい山際の水田は、作物の栽培をあきらめ、獣の侵入防止策や自然災害防止対策を施す土地として活用してはどうか。
- ・ 農事組合法人設立当初の世代は、いつまでも第一線で頑張るだけでなく、後継者となる世代が入りやすい環境作りをしないといけない。
- ・ 行政側は、地域ごとの状況を踏まえた上で、その地域の将来展望を考えた政策をとらなければならない。



令和5年1月30日 越前町内での意見交換の様子